

SERIES 市町村体育協会だより1

## 釜石市体育協会

釜石は、鉄と魚の街と言われ近代製鉄業の繁栄により新日鉄釜石のラグビー日本選手権7連覇や都市対抗野球準優勝に代表されるスポーツの活躍は目覚しく、県都盛岡に次ぐ隆盛を誇った時代もありました。

漁業は200海里問題で、製鉄業は時代の趨勢による合理化で共に衰退し、そのことが市勢やスポーツも低迷を招き企業城下町の宿命に翻弄されて来たのが昨今の状況です。

そんな中でも、体育協会は55年の歴史を重ね、競技スポーツと生涯スポーツを両輪として新しい方向性を見出そうと鋭意努力しており加盟団体も37団体になりました。

例年各種の事業を推進しておりますが、今回は重要な企画として、体育協会独自の予算で『2016岩手国体・強化推進委員会』を立上げました。前回の国体の経験から地元から岩手の代表選手が出て活躍することで大会が成功する大きな要因になると考えて強化事業の早期取組みに着手しました。対象になるのは国体開催年に高校生になる小学生から中・高生で、加盟各協会に呼掛け推薦さ

れた選手の中から審査の上、水泳3名、ラグビー5名、ソフトテニス3名、バスケット1名、トライアスロン2名の合計14名を平成21年度の強化指定選手として認定し、当該協会・保護者同席のもとで、中村会長から認定状を交付しました。

当初小学生などは強化指定選手に認定されてもピンと来ないところも有ったようですが、担当協会の指導で徐々に理解も進んでいるようで意欲の向上も見られます。

既に、ソフトテニスは東京での合宿、トライアスロンもバイクの購入貸与と水泳協会との連携でスイム指導を開始。水泳も春休みに強化合宿を計画しています。ラグビーは中学生の特設クラブに用具類を徐々に揃え、将来は学校にラグビー部を創設出来るような方向性を見出しそれがシーウェイブスに繋がっていくことを目標にしています。

選手強化には長い時間と相応の経費も掛かります、又代表に選ばれるには県の最終選考会も当然クリアしなければなりません。

トライアスロンは釜石市根浜海岸のスイム、鶴住居地域でのバイクとラン・・・この中に釜石出身

の選手が出場すること、ラグビー成年のシーウェイブスの活躍で大会は大いに盛り上がる夢を実現するため強化事業は緒に就いたばかりです。兎に角前向きにやってみよう、『釜石から国体選手を!』の思いで体育協会の叡智を結集してまいります。

